


**海外感染症情報**

情報源：  
厚生労働省検疫所ホームページ  
(<http://www.forth.go.jp>) 新着情報

発生地域	更新年月日	情報内容
アフリカ	2015年03月18日	腸チフス・パラチフスの流行－ウガンダ
アフリカ	2015年03月18日	エボラ出血熱の発生状況（第10週）：補足4
—	2015年03月17日	デング熱の流行状況について（更新2）
アフリカ	2015年03月16日	髄膜炎の発生－ナイジェリア
中南米	2015年03月16日	カリブ海諸国におけるチクングニア熱の患者の発生状況（更新2）
—	<b>2015年03月13日</b>	<b>アメリカ大陸でのコレラの流行状況 ★</b>

### ★【2015年03月13日更新 アメリカ大陸でのコレラの流行状況】 \*抜粋

コレラは、コレラ菌によって、下痢や嘔吐が生じる病気です。症状が軽いこともあります。が、重い下痢が起こることもあり、大量の水分が失われ、脱水から死亡することがあります。2015年3月3日付で汎米保健機関（PAHO）よりアメリカ大陸でのコレラに関する情報が発表されました。

#### ●アメリカ大陸でのコレラ発生状況

2015年1月にカナダの国際保健規約（IHR）担当者から、キューバでの最近のコレラ患者が確認されたことを知らせました。この患者にはキューバへの個人での渡航歴がありました。

ドミニカ共和国では、2014年に死亡者10人を含む597人のコレラ疑似患者が登録されました。2015年の疫学第1週から第5週の間、死亡者6人を含む99人のコレラ疑似患者が登録されました。これは、2014年の同じ時期に検出された患者の2倍以上への増加となっています。

ハイチでは、2015年の疫学第1週から第5週の間、7,225人のコレラ患者が発生し、入院率80%となる5,794人が入院し、86人が死亡しました。2015年に報告された患者と死亡者の数は、2014年の同時期および2012年の同時期と比べて多くなっています。

メキシコでは、2014年に2つの州から14人のコレラ患者の報告がありました。2015年の始めからは、新たな患者の報告はありません。

コレラの流行地へ渡航、滞在される方は、今後の情報に注意していただくとともに、以下の対策を行ってください。

- 飲料水や歯みがき、うがいの水にはミネラルウォーターを使うか、十分に沸騰させた水を使うこと。氷は生水から作られている可能性があるため食べないこと。
- 食事は加熱されたものを、冷めないうちに食べる。
- 食事の前、トイレの後には石けんと水で十分に手洗いすること。
- 下痢になった場合、以下の作り方で作った水を十分にとり、できるだけ早く医療機関で診療を受けること。（以下省略 ☞ <http://www.forth.go.jp/topics/2015/03131630.html> を参照）